
第7回 青の國若山牧水短歌大会 審査結果

【青の國大賞】

ハイジャンプ放物線を背^{せな}で描くおへそは空に頂点記す 今井 克己（77歳） 静岡県静岡市

【一般の部 自由題】

最優秀賞	てきぱきと我れの頭髮カットする去年は洗髪係の少年 ^{こぞ}	桝田 紀子	宮崎県宮崎市
優秀賞	互い違いに電池パックが積まれをり弾丸に見えて恐ろしきかな	杉山 太郎	神奈川県横浜市
優秀賞	亡き母と通ひし温泉に独り来れば「寂しかね」と言ふ受付の人	高瀬 佐奈恵	長崎県大村市
優良賞	椅子五つ食堂のメニュー「棚田そば、ガネ一つどんと蕎麦に乗りたり	大川 教子	宮崎県都城市
優良賞	髪 ^{かつら} の毛を鬘 ^{かつら} だろうと引き抜く手嬉しさもある髪 ^{かつら} の痛さよ	加藤 積	宮崎県門川町
優良賞	守りたき背はずいぶんと小さくて母の未来は僕のこれから	金澤 諒和	大分県大分市
佳作	磨耗して鈍色 ^{にぶいろ} になる印鑑を拭いて長きの勤めを終える	吉岡 昭	千葉県流山市
佳作	三十年 ^た 経ちし生徒のアンケートシュレッダー ^{オン} ON一呑みで消ゆ	坂本 一信	宮崎県宮崎市
佳作	ペディキュアをした親指は近づけぬ小指にそっと恋をしている	瀬戸内 光	山口県光市
佳作	マイク持て第一声を人はなぜ「嗚呼、嗚呼」という声で鳴くのか	松本 進	山口県光市
佳作	仏壇の位牌に彫られし金文字は南方方面某所ニテ戦死	千島 宏明	群馬県藤岡市
佳作	孫達のお琴に合せ三味線ひきし遠き日よみぎる夢のごとくに	青木 若枝	静岡県伊豆市
佳作	幼き日は苦手なりしが母の味 ^{おも} 想ひて作る蕎 ^{おも} の佃煮	堤 千穂子	宮崎県宮崎市
佳作	いい人のふりするうちにほんとうになれるといいなと口角上げる	太田 奈津子	東京都世田谷区
佳作	捨てやうかと娘 ^こ が持つて来るその前に履いてみやうか細目のジーパン	廣田 昭子	宮崎県都城市
佳作	うなだれし老いたる犬の暗き眼はうぬも同じとわれを見あげる	中山 忠義	愛知県稲沢市
佳作	嫁ぎ先の屋号なりけり「叶」 ^{かなえます} 染物屋とふ先祖偲べり	榊野 典子	宮崎県日向市
佳作	遅刻理由問われて「虹を見てました」即その日からあだ名は「虹男」	近藤 國法	宮崎県日南市
佳作	「あららあ」は魔法のことば大らかに語尾を強調つらさ乗り切る	小森 愛子	宮崎県綾町
佳作	野良仕事白いタオルで髪を止めポニーテールがキャピキャピ動く	井上 靖	神奈川県小田原市
佳作	人けなき牧水生家吊るされし静かな釜の傍えに坐る	友永 三男	大分県大分市
佳作	受話器より聞く横文字に勧誘と知るまで長し老二人居て	多田野 順子	宮崎県日南市
佳作	2リットルペットボトルを口飲みで空ける 解毒をした恋心	福田 悠陽	岡山県岡山市
佳作	認知症を学びし孫の「ばあちゃんは大丈夫よ」と電話をくるる	水永 玲子	宮崎県門川町
佳作	ハンカチがリボンやネズミに変はるとき幼の瞳いとど輝く	信安 淳子	岡山県岡山市
佳作	弱音はく子を叱りし日青青の堀切峠メールで送りぬ	池袋 貞子	宮崎県宮崎市

【一般の部 題詠「空」】

最優秀賞	あなたから買ってもらった空色のシャツが勝手に夏を始める	川平 陽子	宮崎県宮崎市
優 秀 賞	ほらごらんミッキーマウスのクローンが畑 ^{はた} にいっぱい空豆の花	春名 直美	兵庫県明石市
優 秀 賞	トスを上ぐるそのとき空に雲の川試合忘るる一瞬の間よ	廣田 昭子	宮崎県都城市
優 良 賞	大きくていつも見ている空なのに空のことなど忘れていた日々	竹下 博子	愛知県新城市
優 良 賞	雲垂れしこの空なれど我が心静めてくれる灰色が好き	堤 千穂子	宮崎県宮崎市
優 良 賞	劇場を出ずれば夜空ひろがりてあるいはすべて幕間のこと	佐原 キオ	大阪府池田市
佳 作	幼な子は七十円のエンピツで青い冬空みごとに描きぬ	大谷 将夫	愛知県新城市
佳 作	道の辺に添って吹く風乗りこんで車椅子ごと空へと昇れ	中原 伸二	山口県光市
佳 作	空色の地球儀廻して一年生赤き日本のちいささを知る	斉藤 浩美	愛知県東海市
佳 作	「すみません回送中です」空色のラインのバスの真後ろに行く	上野 順子	宮崎県日向市
佳 作	月 ^{こうこう} 皓皓星空駆けるピーターパン飛んでみたいな古稀の乙女も	小野 由美子	宮崎県延岡市
佳 作	空知川原始の森をラフティング笑みと歓声 しぶき 鳥の音	駒場 一博	栃木県宇都宮市
佳 作	真っ青な空にまあるい昼の月下校の子らを見つめるかぐや	村上 英明	三重県鈴鹿市
佳 作	初春 ^{はつはる} の空しらむ頃海女 ^{みそぎ} どちの褌とる影渚に浮かぶ	廣岡 光行	三重県志摩市
佳 作	女高生ひょいとまたぎて下校する水たまりの空の白き落花	隈元 三枝子	宮崎県宮崎市
佳 作	アイドルが「うまい」と頬ばる空揚げを売場に探しぬこのばあちゃんも	金尾 洵子	広島県福山市
佳 作	空を飛ぶB二十九を先生に書けと言はれた小学二年	小野 豊子	宮崎県延岡市
佳 作	極 ^{ごく} 早 ^わ 生の新玉ねぎは空を飛ぶ後藤勇吉拓きし空を	岩切 軍典	宮崎県宮崎市
佳 作	じゅじゅじゅーと空気とり込む稲の根の呼吸聞きつつ水草を取る	瀬野 茂子	宮崎県綾町
佳 作	白みゆく空に渡りの時鳥二声三声遠ざかりゆく	中瀬 房子	宮崎県宮崎市
佳 作	泣くように鱗粉 ^{こぼ} 零すその薄き羽で夜空をどこまでも飛べ	長谷川 麟	岡山県岡山市
佳 作	庭畑に農薬なしに育ている穴空きの菜のほろ苦甘し	鈴木 美輝子	宮崎県宮崎市
佳 作	空色を映す鏡のようなこのビニール傘は晴れた日にさす	善本 智有	山口県防府市
佳 作	爆弾の降り注ぐ空は怖いから「空は見ない」とアレッポの子供	石川 典子	神奈川県茅ヶ崎市
佳 作	澄みきった空をみている届かない誰かを思うことの幸せ	岩崎 雄大	埼玉県和光市
佳 作	夕焼の空を描きたるモザイクにひとつひとつと貼る桜貝	清水 良郎	愛知県名古屋市

【小学生の部】

最優秀賞	見上げればどんどん変わる空の色自分の気持ちを表してるよ	太川 結衣	日向市立東郷小学校	5 年
優 秀 賞	木がゆれる心もゆれるよいつまでも自分もゆれる花もゆれてる	大田 瑚次郎	延岡市立恒富小学校	3 年
優 秀 賞	かたつむりちっちゃいからがまんまるだまるまるもようキャンディーみたい	黒木 美優	日向市立寺迫小学校	3 年
優 良 賞	牧水さんあなたを思って話します雨というのはすばらしいなみだ	永山 りの	宮崎市立瓜生野小学校	6 年
優 良 賞	いもうとのおなかがまんまるかわいいなほっぺもまんまるだいすきだよ	平野 穂乃佳	日向市立東郷小学校	1 年
優 良 賞	暑くなりソフトクリーム食べたいなぼくの頭にかけてたいくらい	坂本 龍星	日向市立東郷小学校	4 年
佳 作	そよ風が何か言ってる分らないでもかすかに聞こえるその声	押川 怜衣	宮崎市立瓜生野小学校	6 年
佳 作	今年もね四わきたんだアオバズクやったうれしい元気に育てよ	那須 陵太郎	日向市立坪谷小学校	3 年
佳 作	こそこそと動くぶったい発見だ犬ににているあははイタチか	黒田 紗良	日向市立坪谷小学校	4 年
佳 作	ぞうさんのせなかにのったたかかったこわかったけどまたのりたいな	黒木 良	日向市立東郷小学校	1 年
佳 作	川あそびゴーグルつけてもぐったよ川えびとあゆ見つけちゃった	稲田 琉斗	日向市立東郷小学校	1 年
佳 作	暑い夏プールで泳ぐあめんぼとどっちが速いか真けん勝負	鈴木 駿之介	日向市立財光寺小学校	5 年
佳 作	ぴかぴかであかやみどりできれいだなどっちのぴいまんおいしいのかな	古川 煌翔	日向市立寺迫小学校	1 年
佳 作	あついなみんなが水まきみかんの木のどがかわいた木もにんげんも	海野 優	日向市立寺迫小学校	2 年
佳 作	動物は熱中しょうにならないの毛だらけなのにあつくないの	黒木 玲乃	日向市立寺迫小学校	5 年
佳 作	ミンミンとうるさいと思う人たちはセミのきもちをわかっていない	黒木 水晶	日向市立寺迫小学校	6 年
佳 作	やきにくで強火でやいてなすこげたにがそうだけど食べたらあまい	新田 葵	美郷町立美郷南学園	3 年
佳 作	漢字ノート漢字を書くよがんばるぞうまく書きたい漢字の漢を	黒木 志龍	美郷町立美郷南学園	3 年
佳 作	真夜中に星がたくさんキラキラとひかっているよぼくみたいに	川口 海翔	美郷町立美郷南学園	5 年
佳 作	かぶと虫めすとけっこんおめでとう木にあなを開けたまごうんだよ	榎本 瑛太	日向市立大王谷小学校	3 年
佳 作	桜の葉ぺろっとなめたらにがかったピンク色にだまされちゃった	岩原 佑征	日向市立大王谷小学校	3 年
佳 作	とどきそうつかまえられないもうすこしやっとなれたぞでかいくわがた	松澤 虹月	日向市立大王谷小学校	1 年
佳 作	七年の時を経て鳴く蟬たちの鳴き声まるでよろこびの歌	甲斐 夏恩	宮崎市立本郷小学校	4 年
佳 作	赤ポストいつも一人で立っている今日はだれの顔みようかな	甲斐 大夢	日向市立富高小学校	6 年
佳 作	海の水ふだんはずっと青いのに夕日が照らしまっ赤にそまる	松葉 陽	日向市立富高小学校	6 年
佳 作	ときょう走ぼくの順番一組目フライングしそうな心ぞうの音	藤井 悠人	日向市立富高小学校	4 年

【中学生の部】

最優秀賞	お兄ちゃん本当はすごく嬉しかったいつか必ず言うよ「ありがとう」	尾辻 青空	延岡市立北川中学校	2 年
優 秀 賞	ゴキブリは見られただけで潰されるもしゴキブリなら夜も眠れず	大友 璃久	宮崎日本大学中学校	3 年
優 秀 賞	気合い入れ浴衣着ていく夏祭り待っているのは彼氏じゃないけど	橋口 沙彩	日向市立財光寺中学校	3 年
優 良 賞	見上げればクジラといるかがバトル中じっと見守る夏の雨空	三浦 真奈美	日向市立東郷中学校	3 年
優 良 賞	押し入れの端っこにいるランドセル六年ぶりの休業ですね	白坂 陽菜	延岡市立北川中学校	1 年
優 良 賞	道端を綿毛が一つ飛んでいく道行く人の足に合わせて	津田 翔大	鵬翔中学校	2 年
佳 作	後輩の制服の手触り思い出す初めて袖を通したあの日を	牧 紘奈子	西米良村立西米良中学校	2 年
佳 作	じゃんけんポン必ずチョキ出しいつも負けそれがどうしためげない私	園田 響己	門川町立西門川中学校	2 年
佳 作	ベランダで君に向かって吹く音は届いていますか君の心に	黒木 菜央	宮崎市立高岡中学校	2 年
佳 作	春の山木の上にあるたら芽があと一日で天ぷら行きだ	赤木 謙心	延岡市立北川中学校	1 年
佳 作	ポツポツと雨が私を祝ってる入学式を朝の桜と	淵上 佳奈	延岡市立北川中学校	1 年
佳 作	韓国は日本と距離は近いけど文化のちがいがとても面白い	春山 菜々実	鵬翔中学校	1 年
佳 作	中学生こんなにかばんが重いんだ全力出しても走れない朝	高村 心菜	鵬翔中学校	1 年
佳 作	風で飛ぶプリントたちを目で追えばぶつかったのは視線と視線	田口 ひかる	鵬翔中学校	3 年
佳 作	知らぬ間に止まったペン先にじみ出たあふれたインクは君への思い	中武 そら	宮崎日本大学中学校	1 年
佳 作	古の愛の和歌詠む青春は今も昔も心はかなし	田中 佑樹	宮崎日本大学中学校	3 年
佳 作	雨音が足音を消して声を消し傘に当たった音だけが響く	岩本 純奈	宮崎日本大学中学校	3 年
佳 作	稲刈りや田んぼの景色を見て思うこんなに季節は輝いてるのか	木浦 叶夢	宮崎日本大学中学校	3 年
佳 作	海に行きサーフィンボード滑る波あのしょっぱさが青春感じる	幸田 奈々	宮崎日本大学中学校	3 年
佳 作	岩の上父と二人で肩そろえ釣り糸垂らすせせらぎの中で	塩月 茜	宮崎日本大学中学校	3 年
佳 作	シャーペンを持った瞬間怒られる今からやろうと思っていたのに	安藤 瑠奈	日向市立財光寺中学校	3 年
佳 作	初めてのラケット持たない夏休み今年持つのはペン一本のみ	安藤 文音	日向市立財光寺中学校	3 年
佳 作	「行けない」と彼女は言った夏祭り慰めようと花火が上がる	椎葉 晴日斗	日向市立財光寺中学校	3 年
佳 作	我が家の図書館となるは父の部屋いつかすべての本にしおりを	花岡 みづき	日向市立財光寺中学校	3 年
佳 作	保育士のとても優しい対応に夢が膨らむ十四の私	甲斐 彩加	日向市立財光寺中学校	2 年
佳 作	声を出し仲間とともに追いかける大きな目標小さなボール	西村 茄奈子	門川町立門川中学校	2 年

【高校生の部】

最優秀賞	白い息吐いてあいさつ冬の朝君も私もまるで怪獣	留奥 友希	県立宮崎商業高等学校	2 年
優 秀 賞	君のこと十割全部応援する恋についてはそっと一割	藤川 結衣	県立宮崎西高等学校	3 年
優 秀 賞	久々に再会した友達の変わらないねに少し傷つく	井口 眞希	県立宮崎西高等学校	3 年
優 良 賞	ゆかり飯 ^{めし} はおぼる君の横顔を見てるわたしも食べられそうだ	富森 仁美	県立宮崎商業高等学校	1 年
優 良 賞	ストレスがたまっているなら行ってこい叫べる所ジェットコースター	愛甲 美夕莉	県立宮崎商業高等学校	1 年
優 良 賞	怖そうとみんなそろって言うけれど私だけが知る君の優しさ	牧野田 妃菜	県立宮崎西高等学校	3 年
佳 作	いつまでも優しい心でいられたらあなたはきっと灰かぶり姫	堀 咲良	県立福島高等学校	2 年
佳 作	太陽の光が届かぬひまわりを青空に向け咲かせてみせます	安藤 由依	県立延岡星雲高等学校	2 年
佳 作	「大丈夫」言って笑顔を見せる母昨晚それほど寝てないくせに	原田 沙弥香	県立宮崎商業高等学校	1 年
佳 作	テスト明け黙って見ていた点数はペットでさえも見せられないな	山川 春香	県立宮崎商業高等学校	1 年
佳 作	会いたいよ君の飼ってる犬ならば毎日一緒に過ごせるだろうに	中山 瑞稀	県立宮崎商業高等学校	2 年
佳 作	「不器用」と冷たい言葉の裏腹に首にまかれた手編みのマフラー	瀬戸山 美優	県立宮崎商業高等学校	3 年
佳 作	指先にきれいに巻かれたテーピングあなたが自分で巻いたのかしら	後藤 あかね	県立宮崎商業高等学校	1 年
佳 作	赤信号とまれとまれというけれど交通違反のごとく君を恋う	森園 萌加	県立宮崎商業高等学校	2 年
佳 作	せみの声近くできくと暑く感じ遠くできくとなぜかすずしい	的場 美羽	県立宮崎商業高等学校	1 年
佳 作	色々と表情変わる大空はまるで人格もってるみたい	松下 美咲	日南学園高等学校 宮崎穎学館	2 年
佳 作	夢や希望持つことだけがすばらしいことだと言わない先生が好き	川野 七海	県立飯野高等学校	2 年
佳 作	自転車のペダルがまわればまわるほど彼女と帰れる時間が終わる	佐々木 勝圭	県立延岡商業高等学校	1 年
佳 作	帰り道電信柱数える手をつなごうまであと2本かな	田中 寧音	県立延岡商業高等学校	2 年
佳 作	数学のつらい授業で寝ていても君はカフェイン入りのコーヒー	大南 龍海	県立宮崎西高等学校	3 年
佳 作	シングルス孤島にひとり放たれただけで後ろに仲間がいるんだ	諸賀 颯兵	県立宮崎西高等学校	3 年
佳 作	おみやげのセンスのなさに母と笑う兄には絶対言えないけれど	大西 唯	県立宮崎西高等学校	3 年
佳 作	二番目は以下同文で略される目指すは一つ全文読み上げ	黒木 優真	県立日向工業高等学校	3 年
佳 作	宝くじ毎日のように買う父は今も夢みる小さな少年	檜垣 京香	県立延岡高等学校	2 年
佳 作	はふはふと友とほおぼる肉まんの湯気立ちのぼる冬の夕暮れ	中山 駿	県立延岡高等学校	3 年
佳 作	放課後に君に積分聞きながら本当は知りたいYes の確率	濱口 七美	県立延岡高等学校	3 年